

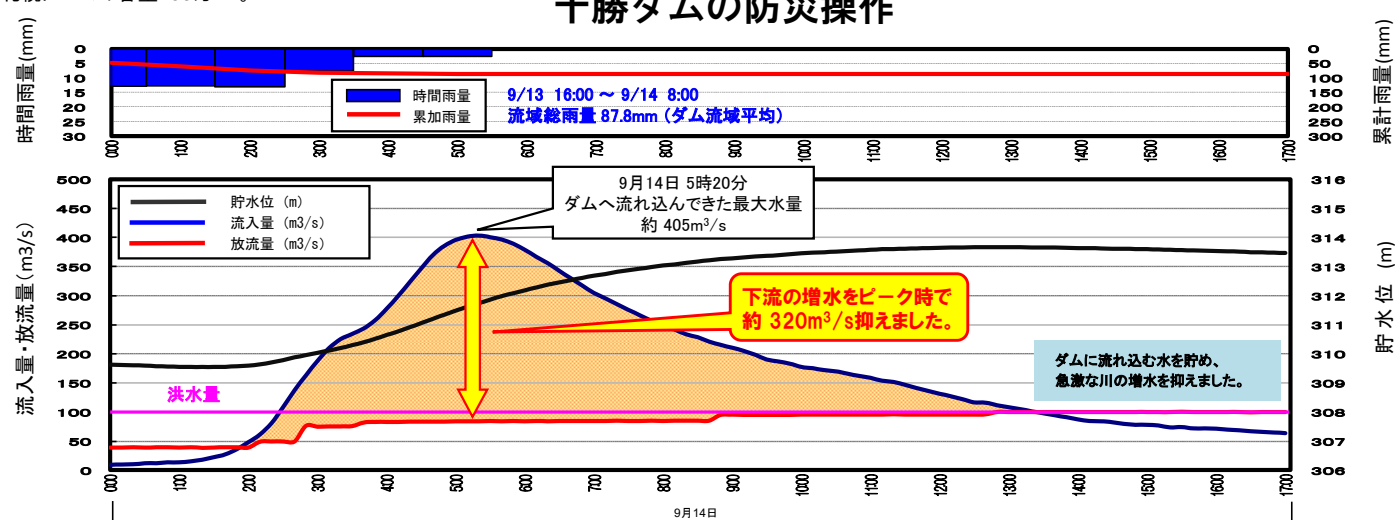
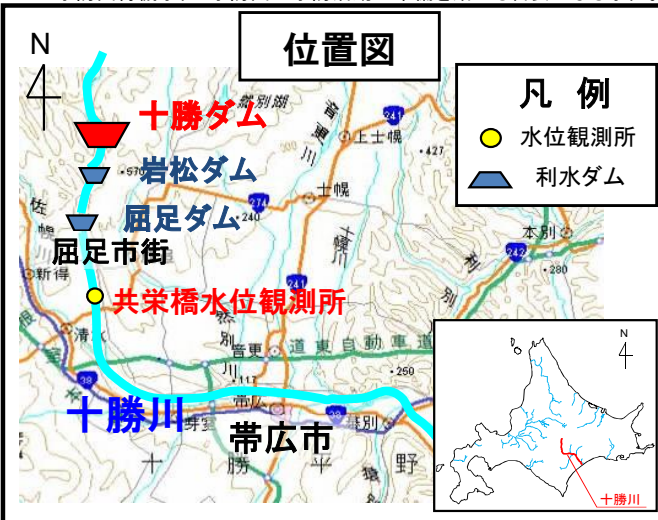
ダム整備が効果を発揮（北海道 十勝ダム）（国管理）

- 十勝ダムでは洪水をダムに溜め込み下流河川の水位上昇を抑えて、洪水被害を軽減するとともに発電に利用しています。
- 十勝ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の清水町（共栄橋水位観測所）では水位を約0.8m 低減させる効果があったものと推測されます。
- 令和7年9月13日～14日 前線を伴った低気圧による大雨により、十勝ダムでは洪水量を超える流入量を観測。
- 仮にダムが整備されていなければ、水防団待機水位※1を上回る出水となったことが想定されます。
- 今回の洪水で十勝ダムでは、旧札幌ドーム※2 約3.6杯分の洪水を貯留し下流河川の水位低減に貢献。

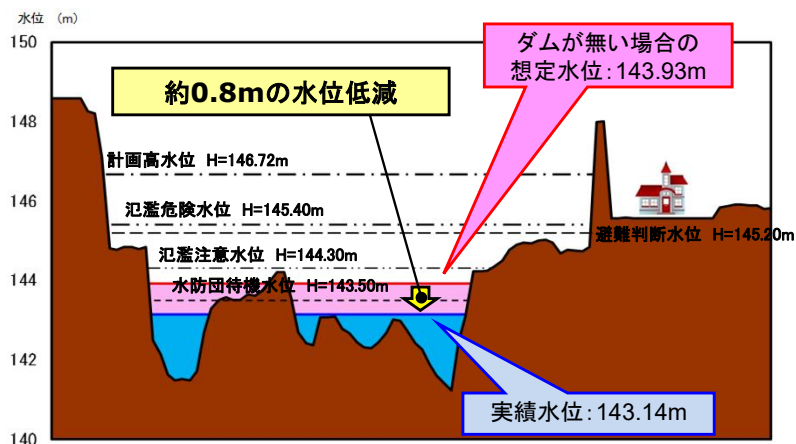
※1 水防団待機水位: 水防団が水防活動の準備を始める目安になる水位。

※2 旧札幌ドームの容量158万m³。

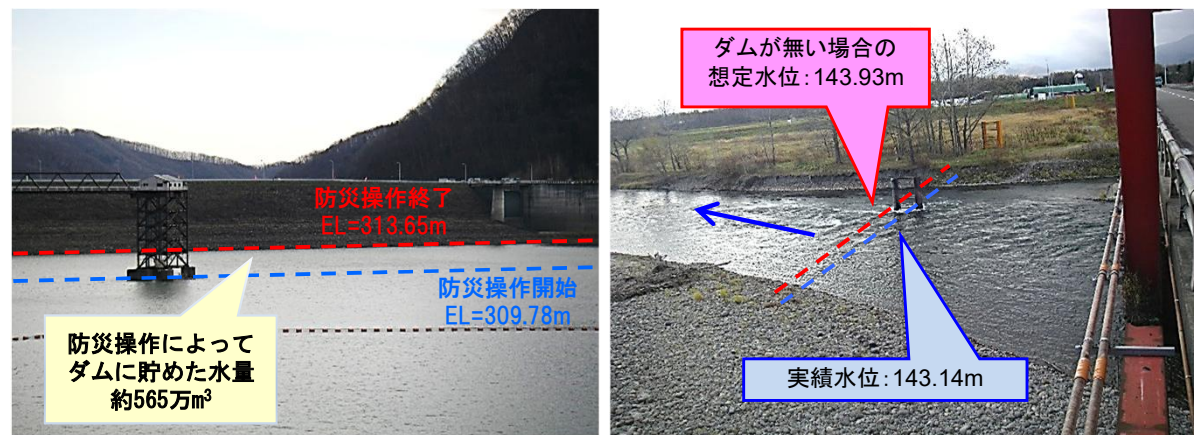
十勝ダムの防災操作



共栄橋水位観測所地点における水位低減効果



共栄橋水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。